



A O B A N O K A Z E

あおばの風

第64号

青葉区民生委員児童委員協議会



地域とつながる 安心をつなぐ



やあ、
青葉区制20周年記念行事でも
お会いしましたね。

町内自治郎さん



ほう、民生委員さんは、一人で
何世帯くらい受け持っているんですか？

こんにちは、自治会長さん。
実は私たち「青葉区民生委員児童
委員協議会」も20年なんですよ。



民生あおばさん

そうですねえ、400世帯くらいです。
青葉区は16地区に分かれていて、
民生委員は320名いるのですが、地域世帯すべてを
見守りますので、仕事の幅はとても広くなります。

うーん、私たち自治会も、このところ特に、
高齢者への対応が重要になってきましたねえ。
住民同士の見守りや助け合いが必要になってきましたよ。



特に災害時の対応は、どの自治会さんも様々
な対策を考えておられますよ。
ひとつの自治会ではなく、防災拠点区域とし
ての一回り大きな連携を活用したいですね。

ほんとうですね。
私たち民生委員児童委員は、自治会と地域
からの推薦を受けて委嘱されますので、み
なさんの相談相手として安心できる暮らし
のお手伝いできればと考えています。

地域には様々な方が住んでいますから、
災害時だけではなく普段から助け合って
誰もが安心して暮らせる町になるよう
に、ぜひ地域のみなさんに自治会への協
力をお願いしたいですね。



日常の見守りから一歩進めて、自治
会と民生委員で居住者の情報共有が
できると、いざという時に役立ちま
すね。暮らしやすい町を、みなさん
と一緒に作りましょう。

あなたとつながる 未来へつなぐ

みなさんの声を たくさん集めてみました → 2ページ

回																			
覧																			

承認
青葉区第16号

167自治会



地域人！始めてみました

地域のひとりとしてつながって行く…それが

青は自治会町内会、ピンクは民生委員児童委員、紫は双方の思いが重なっ

住民の協力でまとまっている 自治会は地域の鍵！

地域の人から信頼されている

活発で自治会活動が楽しい

防災活動が活発！ 備蓄庫が充実

他の自治会と連携できたらいいな

老人会・子ども会の活動が活発

防犯パトロールが充実

これまでやってきた通りやればよいという風潮がある

若い世代の継続的な協力が難しい

小中学校と互いの行事で交流

毎年メンバーが代わるが一生懸命活動している

交代した後も、自治会活動に積極的に参加してほしい

地域の御意見番で大切

長くやっている人の発言力が強い

PCやスマホに強い人が多い

改善しながら皆が関わりやすい自治会にしようとしている

高齢者等の情報を共有して
災害時の見守りをスムーズにしたい



学区や防災拠点など大きな輪で安心が育つとうれしい！

お互いの理解を深め、協力関係をつくりたい

赤ちゃん

両者が協力すれば大きな力になると思う

民生委員児童委員にと

年に数回、自治会長と民生委員児童委員との情報・意見交換会を実施



～優しいまなざしになりました～

今回は、双方から様々な思いを集めて
この「つぶやき」が、未来に向けてつな

● 全体研修レポート 平成26年7月7日

講演で印象に残ったことは、孤独死の10～20%は身元引受人がなく、自治体が「無縁死」として埋葬を行っている。東京23区内での孤独死が昨年は5,000件以上あり、大半が独居・高齢者2人世帯という。周囲に迷惑を掛けたくない思いが孤立孤独を招き、会話する相手も思考することもなくなり、認知症発症という悪循環に陥ってしまう。認知症の検査と介護サービスの利用を勧められたことで、人と会うことを拒否するよ

うになった人もいる。大切なことは“元気なうちから地域で繋がりを作ること”だという。

民生委員として私たちの活動を見直すヒントが随所に見えた講演でした。



講師：板垣 淑子氏

1994年NHK入局。報道局制作センターを経て、現在は大型企画開発センターに所属

地域人!!



16 地区
民児協

たつぷやきです

個人情報の扱い方を守っている

地域とのパイプ役

相談事に誠意を持って対応している

地域に常に支援のアンテナを張っている

関係機関につなぐことができる

親切で面倒見がよく、元気で明るい人が多い

自治会広報紙に民生委員のコーナーを作って情報を発信したい

子育てから介護まで色々な知識を学んでいる

と民生委員と顔見知りになってほしい

「民生委員児童委員は自治会が推薦している」ということをお互いに分かり合いたい

街角で困っている人に声をかけやすい

から障がい者・高齢者まで支援見守りをしている

さりげなく優しい

って自治会の協力はおおきな支援になる

ました。あなたの声はありますか？

がり支え合う地域福祉の芽 になりますよう

こんにちは 16地区民児協です

・正式名称は「〇〇地区民生委員児童委員協議会」です
・各地区には、「主任児童委員2名」が含まれます
地区No. 民児協名(定員数) 会長名

左の地図は、青葉区民児協の担当地区で、番号は右の民児協一覧の地区番号です

- ① 中里地区 (15名)
白井 多美子 (青葉区民児協副会長)
- ② 中里北部地区 (18名)
関戸 博雅
- ③ 市ヶ尾地区 (19名)
志村 秀子
- ④ 上谷本地区 (18名)
上田 滯子
- ⑤ 谷本地区 (30名)
矢野 宣子
- ⑥ 恩田地区 (31名)
久保田 好子
- ⑦ 青葉台地区 (28名)
小川 元子
- ⑧ 青葉台南部地区 (20名)
植木 義治
- ⑨ 奈良地区 (20名)
土山 郁子
- ⑩ 奈良北地区 (8名)
川島 佳代子
- ⑪ 山内地区 (27名)
吉村 春美 (青葉区民児協副会長)
- ⑫ 山内北部地区 (26名)
吉村 茂
- ⑬ 荏田地区 (19名)
林 一久
- ⑭ 荏田西地区 (12名)
中村 文子
- ⑮ すずき野地区 (20名)
赤塚 由子 (青葉区民児協会長)
- ⑯ 美しが丘地区 (20名)
菅 義昭

赤い羽根共同募金

10月1日および4日、青葉区内7か所で募金活動を行いました。多くのご協力をいただき、全体で310,659円になりました。

集まった募金は、青葉区内や県内の課題を解決するための福祉活動に使われます。

ありがとうございました。

福祉110番

☎972-7018 相談受付 月～土 9時～17時
市が尾駅から徒歩5分 社協「ふれあい青葉」

青葉区社会福祉協議会あおばボランティアセンター福祉110番をご存知ですか？ここでは、11名のボランティアコーディネーターが、ボランティア登録の受付および福祉に関する依頼の相談などを受けています。公的制度のあるものは情報の提供や紹介を、ボランティアを必要とする事例については依頼の内容をしっかりと検討して活動へと繋げていきます。

その他にも、“体験を通して障がい者の理解を”との思いを込め、小中学校で年間約40件の福祉教育のコーディネートをしています。

何かの時には、福祉の心強い味方「福祉110番」をご利用ください。

主任児童委員だより



ストップ・ザ・犯罪 第16回講演会

インターネットと子どもの育ち

こどもの心と体を守ろう 2014.7.2

子どもたちのおかれている“今”を知るために、インターネットポリシースペシャリストの宮崎豊久氏をお招きして、現代の情報社会と少年問題の関係についてお話をうかがいました。

SNS・オンラインゲーム・出会い系や詐欺サイト等で起こる問題と解決方法についてのお話の中から

まず、私たち大人にとって必要なのは

- ①インターネットについての知識を持つ
- ②「使わせない、取り上げる」のではなく、なぜ子どもがそれを使うのかを考えよう
- ③フィルタリング機能を有効に活用しよう

インターネットを理解し上手に利用しながら
「コミュニケーション能力」を高めてゆくことが、子どもにとって大切な「生きる力」を育てることにつながる
 と説かれていたのが印象的でした。

講演会後の保護者の声（アンケート調査より）

- * インターネット社会の進歩が悪いと思っていたが、家族のつながり、子どもを認めることが大切と気付かされた。
- * インターネットに関して親子で話し合っ理解していきたい。
- * コミュニケーション能力を育てる事の大切さを再認識した。

コラム あおばのかぜ

時がとまった町

東日本大震災による原発事故の被害を受けた福島県富岡町を訪ねました。津波によって駅舎が崩壊流出し、駅名標とホームの屋根がかろうじて残るだけの常磐線富岡駅前バスを降りると、私たちにマスクが手渡されました。

荒れた草むらにひっくり返ったままの車、傾いた鉄道架線柱、外枠だけの家屋……衝撃的な光景に言葉が出ません。ここは原発事故による避難指示解除準備区域で立ち入りは出来ても宿泊は禁止されています。

当日、案内をしてくださった震災の語り人仲山さんは「草に手を触れないでください。線量が高いですから」と見えない放射能の恐ろしさを教えてくれました。震災から3年半を経た今も時間が止まったまま。帰り際、もう住めなくなった自宅前で「屋根だけは直しました」と話す仲山さんの明るい言葉の裏に隠された気持ちが、痛いほど私の心に響きました。

いわき市のみんなぐネットや富岡町おだがいさまセンターのみなさんが、顔をあげて前向きにこの経験を伝えて行こうとしている姿に、富岡町の広報誌に掲載されていた子どもたちの言葉が重なりました。

“夜ノ森（よのもり）の桜は 空いっぱい
 咲いて春になるとみんな上を向いて歩きました”

谷本地区 豊崎智子

編集後記

秋も深まり紅葉だよりが届く時節となりました。青葉ふれあい見守り、防災拠点、地域イベント、学校行事など自治会・町内会と民生委員児童委員の連携がますます重要となってきます。

お互いの理解と協力を深めるために、日常活動の中で本号を参考にしていだければと思います。

- 会議に出るたび紙面ができ楽しかった S
- 情報・知識・事実、どれも大切なことなんです R
- 最後まで読んでいただき、有難うございます N
- 広報は初体験、勉強になりました。楽しかった！ S

広報部代表 豊崎 智子

64号担当 大原 義男 齋藤 世二 貞方 良子
 田川 みちこ 長倉 奈知子 西澤 法子
 村上 希史子 山市 典子 山内 サカエ

